



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は8月23日(水) 第2536回例会 ■

会員卓話 国際奉仕委員会担当
国際奉仕委員会 武田昭二委員長
テーマ：国際奉仕とは何ぞや

※RCレート 8月1日より 1\$ 141円

■ 次週の予定 ■

8月30日(水) 指定休会
9月6日(水) 会員卓話 青少年奉仕委員会担当
第2537回 青少年奉仕委員会 田中敏文委員長
テーマ：株式会社 林工務店の軌跡
9月13日(水) 会員卓話 社会奉仕委員会担当

第2535回例会記録 2023年(令和5年)8月9日(水) 晴れ「四つのテスト」唱和「奉仕の理想」斉唱

- ・ゲスト紹介 北洋銀行砂川支店 支店長 澁谷浩樹様
- ・ビジター紹介 本日はいらっしやいません。

会長報告

会長 沢田 広志

- ①2023～2024年度受入学生歓迎会、2022～2023年度派遣学生帰国報告会のご案内が国際ロータリー第2510地区青少年交換委員会より届いております。
- ②第5期RLIセミナーパートI開催の再度のご案内が届いております。
- ③2023～2024PHS認証式 懇親会 午餐会開催のご案内が届いております。
日時：9月23日(土)13:00～15:30
場所：ロイトン札幌 2階
登録料：10,000円 9月8日(金)申込締切となっております。
- ④2024～2025年度地区補助金管理セミナー開催のご案内が届いております。

幹事報告

幹事 山内 勝人

- ①赤平ロータリークラブ様より7月会報と活動計画書が届いております。
- ②留萌ロータリークラブ様より8月例会プログラムと活動計画書が届いております。
- ③芦別ロータリークラブ様より活動計画書と会報綴りが届いております。
- ④地区大会、記念ゴルフ大会の登録料及びローターアクトクラブ地区協議会の登録料を本日中にお支払い頂きますようお願い申し上げます。

例会

ゲスト卓話

直前会長担当

造田孝志直前会長

ゲスト紹介 本日は、直前会長担当例会ということで、ゲストをご紹介させていただきます。

皆さんご存じの方が多くと思いますが、北洋銀行砂川支店支店長澁谷浩樹(しぶやひろき)様でございます。簡単にご紹介させていただきますが、澁谷様は、昭和45年9月24日生まれの52歳でございます。札幌市出身で、札幌南高校から明治学院大学法学部を卒業され、平成6年4月北洋銀行に入行されております。

西野支店を皮切りに、数々の支店を歴任され、令和3年7月より、砂川支店支店長として現在に至っております。

家族構成は、奥様がおられまして、奥様も現在北洋銀行函館中央支店にて勤務されており、両者単身赴任中と

のことです。

本日は、地域経済に対する金融機関の在り方について卓話を頂きます。澁谷支店長様宜しくお願い致します。

テーマ：地域経済に対する金融機関のあり方について

北洋銀行砂川支店 支店長

澁谷浩樹様

・地域経済

まず、地域経済というワードに関して、北海道経済全体を見て行きたいと思います。

北海道は、広大な面積と本州から分離しているという特殊性があります。そのため、産業別構造としては、全国に比べ一次産業と三次産業の割合が高い。一次産業は農林水産業ですが、三次産業は観光業が中心となっています。

ところが、その二大産業が苦境に陥っています。農林水産業は、飼料高騰・天候不順含む温暖化の影響・外国産の輸入等があり、観光業はコロナ禍によるインバウンド消費の減退があげられます。インバウンドは、3年間の空白後、やっと回復の兆しを見せているので今後に期待は出来ます。

その中で、降って湧いたような明るい話題が今年になって出て来ました。今、全国的に注目されている「ラピダス」の千歳への新工場建設です。

ラピダスは、半導体製造会社として、トヨタ・ソニーなどの大手企業8社の出資により昨年設立された民間会社。米中を中心にハイテク技術の覇権争いが起こっている中で、半導体開発で後れを取っている日本が巻き返しのために次世代半導体の国産化を目指す目的があります。政府支援3,300億円の支出は既に決定しており、今後、2025年の新工場でのライン稼働までに2兆円、2027年の量産化までに官民合わせて約5兆円の費用が必要と試算されています。

北海道経済にとっては大きなインパクトがあり、工場建設だけでなく、新規雇用の発生、半導体関連企業の新たな進出、技術者や従業員の移住なども期待出来る。また、苫小牧から千歳、札幌、石狩市にかけて半導体関連会社を集積する「北海道バレー構想」は、地方創生にも役立つものと思われます。砂川市は若干外れているのは悲しいことですが・・・。

このように、道民だけでなく全国民の多くが大いに期待し、北海道経済の構造改革に繋がると盛り上がっているところですが、ひねくれ者の私はあえてラピダス対



して「本当に大丈夫か？」と問題提起してみたいと思います。

まず、1点目。製品化を目指している次世代半導体は2ナノメートル規格。現在、半導体製造のトップを走る台湾のTSMCや韓国のサムスンでも3nm。後発である日本が、4年という短期間で量産化までこぎつけることが出来るのか。

2点目。量産化出来たとして購入先はあるのか。他社も当然製造するであろうから世界的な価格競争力も備わっていないから国内生産だと相応のコストがかかりそう。国内消費だけでは難しいでしょう。

3点目。資金調達。総額5兆円の規模となるようだが、どこから調達するのか。通常、民間企業であれば株式上場や金融機関からの融資が一般的。当社の現状では株式上場は難しく民間金融機関もリスクを凶りかねると思われる。金融機関が応じるとしても、メガバンク含む銀行団を結成し政府保証などを求める可能性があります。仮に、最初から政府支援を期待しているのであれば国策企業となり、過去のELパネル製造のJOLEDや半導体製造のエルピーダメモリが破綻したような二の舞と出来ないかも心配。

その他、工場建設に道内企業がどれだけ関わられるのか？熊本のTSMC工場でも技術者不足が懸念されている中、技術者を確保したうえで北海道に移住してくれるのか？や、道内教育機関での新たな人材育成等が上手く行くのか？などなど。また、本州からの人材確保は相応の給与水準が必要であり、道内企業との格差も問題となる可能性があります。

色々問題点ばかり述べましたが、北海道経済にとっては巨大プロジェクト。何にしても、政府支援という事は多くの税金が投入されるという事もあるので、個人的にも地元金融機関としても是非成功して貰いたいという考えに変わりはありません。

・地域金融機関

さて、少し話がそれましたが、地域経済に対する金融機関の在り方についてです。

メガバンクに対して地域金融機関という言葉があり、特定地域を営業基盤とする金融機関で、地銀・第二地銀・信金・信組・農協・漁協・労金などがあります。ちなみに北洋銀行は第二地銀、北海道銀行は地銀に属しています。限られた地域で営業する金融機関ですから、当然、自分たちが生き延びるためにも地域経済の発展が必要となってきます。

従来の金融機関のビジネスモデルは、お客さまから資金を預り、それを必要としている法人・個人へ貸付するというもの。景気が良ければ設備投資等で資金も必要となるため経済が回り、金融機関も本業の利鞘収益で問題ありませんでした。ところが、景気後退と低金利時代への突入で、金融機関は現在も続く厳しい状況に置かれます。企業倒産増加による貸倒や貸出金利の低下による収益減少により体力を削られた金融機関は合併等も進めますが、近年はネット銀行の参入なども脅威となっています。蛇足ですが、アメリカでアップルがiPhone利用者向けにアップル預金サービスの取り扱いを開始し、預金金利4.15%を付け4か月で100億ドルを集めたそうです。個人的には日本でもサービス開始してくれたら利用するのと思っています。

さて、厳しい状況の地域金融機関ですが、自分たちが生き残るためには地域経済の活性化に繋がる活動が必要となります。従来の資金サポートのほかに様々なコンサルティングを提供する役割が求められることとなりました。特に、これまで地域経済を支えてきた中小企

業等への経営支援です。地方では、少子高齢化や人口減少が進み、事業再生や事業承継に苦勞している企業も多い。企業の減少は、雇用確保や経済成長の面でも大きな損失となることから、企業の課題解決に取り組むことが今後の金融機関の在り方になって行くともいえます。何か困ったことがあれば「メインバンクに相談してみよう」という雰囲気醸成し、よろず相談所となることを目指すことが地域金融機関の在るべき姿と考えております。

大きな括りで見えて来ましたが、砂川市としてはどうでしょう。私は、砂川市総合戦略推進委員会に砂川金融協会の立場で参加させて頂いております。委員会では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、様々な課題に対して各種事業を実施し、数値目標を掲げて取り組んでおります。基本的な考えは、人口減少に対応する地方創生の取組と認識しております。

人口減少は全国的な現象であり砂川市だけの問題ではありません。各自治体が競って移住促進政策を推進していますが、結局は少ないパイの奪い合いになっています。先進国では、少子化による自国民の減少は止むを得ない事象です（アメリカは国の成り立ちから移民が多いので別ですが）。国も人口減少に対する危機感から様々な政策を行っており子育て世帯の支援は目玉政策のようですが、根本は若年層が結婚でき子供を育てることが出来るという将来像を描ける環境整備が必要かと思っています。特に、経済面の不安が大きいため世の中の経済発展が不安解消に繋がるでしょうが、これは国の施策でしか成し得ない事だと考えます。

では、砂川市は何をしたらいいか。過去に中空知で市町村合併等も模索したが各自治体の思惑もあり実現しなかったと聞き及んでいます。規模の拡大が無理であれば、現実的な問題として、人口減少を前提とした対応が必要かと思っています。

拙い話となりましたが、ご清聴ありがとうございました。

出席報告

委員長 香山 素子

第2535回例会

※在籍数 39名 ※出席規定免除 2名

※本日出席基数 39名 ※本日欠席者数 7名

※本日出席率 82.05%

※本日欠席者

佐藤文優会員

近藤俊継会員、阿部憲道会員、山田 大会員

吉藤秀邦会員、水島聖一会員、竹田俊一会員

ニコニコボックス

※澁谷支店長様、本日卓話ありがとうございました。

造田孝志会員

※造田直前会長、担当例会ありがとうございました。

沢田広志会長

本日のニコニコBOX 4,000円 累計額 293,000円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会：目標 12,000円/人

本日 0円 累計 99,000円

※ロータリー財団：目標 180\$/人

本日 0\$ 累計 1,800\$

ガバナー月信

QRコード



本号担当：高橋 俊美 次号担当：高橋 俊美

事務局：砂川パークホテル内 (TEL)0125-52-3989)

会長 沢田 広志 幹事 山内 勝人

欠席届は前日昼迄に北谷好文SAAまで (TEL)54-2033・FAX)54-2034)